

PEACE

今年、4月27日の南北首脳会談と板門店宣言。また、6月12日の米朝会談。固唾を飲んでニュースを見ていた人も多かったのでは？朝鮮戦争を終結し、平和協定を締結するこの歴史的転換の時に私たちだって、何にもしないなんてできません。

戦争はしないと誓った憲法を持つのに関わらず、軍備を進めてきている日本の未来だって、大転換になるかもしれません。

加速する東アジアの平和への動きに、日本の私たちもPEACEな声を上げませんか？「平和」にエールを送りましょう。それが戦争で犠牲になった方々の想いでもあります。

朝鮮戦争休戦65周年

東アジアに平和を！
7・27キャンドル行動

休戦協定を平和協定に！
日朝の対話を！

7月27日(金)18時半

キャンドルで人文字(PEACE) 18時50分と19時10分
御堂筋ピースパレード

うつほ
朝公園

4月27日の板門店宣言では年内に朝鮮戦争の終戦を宣言し、休戦協定を平和協定に転換することが唱われました。きたる7月27日はその休戦から65年の節目にあたります。

朝鮮戦争は1950年6月25日に勃発し、丸3年の間に500万人の死者、1000万人の離散家族が生じたといわれています。日本では戦争特需で戦後復興の起爆剤になったと言われますが、まさに戦争の犠牲の上に戦後の経済成長があったと言っても過言ではありません。また、私たちは二度と戦争はしないと決意した平和憲法を施行させながら、朝鮮戦争を契機に再軍備に踏み出しました。そしてベルリンの壁が崩壊したあともここ東アジアにおいて冷戦体制が維持されてきました。

しかし今日の平和の動きは歴史の大転換を約束するものであり、安保環境の厳しさを口実に進めてきた戦争法や憲法9条改悪の動きが、その前提を失うことは明らかです。

私たちは今、根本から日本の平和のあり方を見つめ直す時ではないでしょうか？私たち自身が東アジアの平和創造の主人公として声を上げて行きましょう！

呼びかけ人

青柳 林	(真宗大谷派住職)	澤野 義一	(大阪経済法科大学教)
庵途 由香	(立命館大学教授)	杉村 昌昭	(龍谷大学名誉教授)
家 正治	(神戸市外国語大学名誉教授)	平良 仁志	(日本バプテスト連盟牧師)
石田 法子	(元大阪弁護士会会長)	高作 正博	(関西大学教授)
板垣 竜太	(同志社大学教授)	仲尾 宏	(元京都造形芸術大学客員教授)
太田 修	(同志社大学教授)	浜 矩子	(同志社大学教授)
勝村 誠	(立命館大学教授)	菱木 政晴	(元同朋大学大学院特任教授)
木戸 衛一	(大阪大学教授)	藤永 壮	(大阪産業大学教授)
古郝 荘八	(日本基督教団牧師)	本田 哲郎	(カトリック神父)
駒込 武	(京都大学教授)	水野 直樹	(京都大学名誉教授)
斉藤 日出治	(元大阪産業大学学長)	山内 小夜子	(真宗大谷派僧侶)

●賛同を呼びかけています。
団体一口3000円、個人1000円

●振込先
郵便振込 00950-8-273400
東アジア青年交流プロジェクト
「キャンドル行動」と書いて振込下さい

●連絡先
ユンデネット大阪 yondenetosaka@gmail.com
Facebookページ
「東アジアに平和を！7・27キャンドル行動」でご確認下さい。

靱(うつぼ)公園

地下鉄四ツ橋線「本町駅」
28番出口から4分

地下鉄四ツ橋線「肥後橋駅」
7番出口から6分

